平成25年第4回定例会　◆発言者一覧◆

1	平成25年第4回定例会（第2日目）2013.12.06	発言順：1　菅原健（自由民主党・仙台）
2		発言順：2　岡本あき子（市民フォーラム仙台）
3		発言順：3　跡部薫（復興仙台）
4	平成25年第4回定例会（第3日目）2013.12.09	発言順：1　嶋中貴志（公明党仙台市議団）
5		発言順：2　すげの直子（日本共産党仙台市議団）
6		発言順：3　小山勇朗（社民党仙台市議団）
7	平成25年第4回定例会（第4日目）2013.12.10	発言順：1　やしろ美香（自由民主党）
8		発言順：2　加藤けんいち（市民フォーラム仙台）
9		発言順：3　渡辺博（復興仙台）
10		発言順：4　佐々木真由美（公明党仙台市議団）
11		発言順：5　庄司あかり（日本共産党仙台市議団）
12		発言順：6　ひぐちのりこ（社民党仙台市議団）
13		発言順：7　及川英樹（みんなの党・みんなの仙台）
14	平成25年第4回定例会（第5日目）2013.12.11	発言順：1　大泉鉄之助（自由民主党）
15		発言順：2　佐藤正昭（自由民主党・仙台）
16		発言順：3　佐藤わか子（市民フォーラム仙台）
17		発言順：4　鈴木勇治（復興仙台）
18		発言順：5　佐藤和子（公明党仙台市議団）
19		発言順：6　ふるくぼ和子（日本共産党仙台市議団）
20	平成25年第4回定例会（第6日目）2013.12.12	発言順：1　石川建治（社民党仙台市議団）
21		発言順：2　早坂あつし（みんなの党・みんなの仙台）
22		発言順：3　鈴木繁雄（自由民主党・仙台）
23		発言順：4　木村勝好（市民フォーラム仙台）
24		発言順：5　鎌田城行（公明党仙台市議団）
25		発言順：6　小野寺淳一（みんなの党・みんなの仙台）

平成25年第4回定例会（第2日目）2013.12.06

発言順：1　菅原健（自由民主党・仙台）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
1：津波防災地域住宅再建支援事業所の追加２億円金について ・これまで見送ってきた支援内容を今回対応することとなった経緯・市長があと一歩踏み込んだ支援が必要と判断した理由 ・複雑な内容となっているので例えば一律百万円交付とするなどわかりやすい制度にするべきではないか ・今回の措置に伴い内陸の宅地被災者のなかに宅地被害への支援が拡大するのではないかと期待される方もいるのではないか。それへの対応 ・これを契機に被災者の住まいの再建が加速化することが期待されることについての市長の認識と今後の取り組みの方向性	0	0	1	1
2：復興公営住宅について ・今回200戸を追加することにした考え方 ・200戸追加の箇所として４カ所を選定した理由 ・仙台市内の仮設住宅に残された他市町の被災者についての県や他市町との協議の進め方 ・当初の計画に対して現在の進捗状況はどうなっているか	0	0	0	0
3：被災者の生活再建の促進について ・復興公営住宅に入居された方のうち独自支援にも該当せず生活再建支援金の加算支援金も支給されない方に何らかの対応を検討するべき ・仮設住宅入居者に対する生活再建への取り組みの重要性とトップランナーとしての仙台市の責務 ・他自治体からの応援派遣職員について新年度の継続派遣要請は行わないとの市長の発言は他自治体の理解を得られていないのではないか	0	0	0	0
4：震災遺構の保存について 荒浜小学校を震災遺構として保存するべき	0	0	1	1
5：地下鉄東西線事業について ・現在の工事の進捗状況 ・ある程度の範囲で目標とする開業時期を示す必要性 ・東西線の整備効果を早期に実現させるためのより積極的な誘導策を行う必要性 ・東西線のインパクトを生かすための次の一手	0	0	1	1
6：復興後を見据えた地域経済の活性化について 今回の補正予算の狙いとそれを踏まえた今後の産業政策の進め方について	0	0	0	0
7：本市の農業政策について 国内の産地間競争や外国産との競争に負けない強い農業をつくっていく必要性とそれについての当局の認識	0	0	0	0
8：子育て支援について ・長時間預かり保育を実施する幼稚園が認定こども園へ移行する際に必要となる施設改修費に対する助成の経緯と新制度において幼稚園が認定こども園へ移行する意義 ・小規模保育を導入する狙いと今後の整備方針 ・認定こども園への移行と小規模保育の導入によって，保育基盤をどれだけ拡充できるか，2000人分の保育基盤の拡充への今後の取り組み	0	0	0	0
9：消費税引き上げに関連して ・公共料金の改定を今回の範囲内容にした基本的な考え方 ・施設の使用料等へ転嫁しない場合の一般財源からの補填（受益と負担の適正化の問題）についての対応	0	0	0	0
10：子ども体験プラザについて ・本事業の狙いとその教育効果 ・利用者を限定せず市外の被災者や本市市民に広く開放するべき。土日も含めさらに有効な施設利用を図るべき	0	0	1	1

11：仙台市病院事業について ・診療科増設等の考え方と医師確保の見直し ・精神科医確保も含めた精神科の準備状況 ・分娩料・個室料の引き上げの考え方 ・分娩料を病院の原価計算より低く設定した場合の差額の補填 ・分娩料や特別差額使用料の引き上げの時期について ・新病院のオープン時期と値上げの時期を明確に示すべき ・今後に向けた非紹介患者初診加算料の引き上げの考え方 ・紹介患者中心の診療になることについての患者の理解の重要性とその準備状況	0	0	1	1
12：工事請負契約のインフレスライド条項の適用上の課題と課題の解消に向けての取り組み	0	0	0	0
13：少年自然の家施設建築の追加費用の内訳と負担の根拠・現在の進捗状況・会館時期	0	0	0	0
	0	**0**	**5**	**5**

【コメント】
１⇒これまで見送ってきた支援内容を今回対応することとなった経緯は事前に調査可能。宅地被害への支援の拡大を提案するなら，根拠を示してはっきり提案すべき。 ２⇒「追加の理由」「４カ所を選定した理由」は事前に調査すべき。 ３⇒「何らかの対策」とは何か。「仮説住宅入居者に対する生活再建」として何が必要かを具体的に提示する必要がある。 ５⇒「現在の工事の進捗状況」「開業時期」は事前に調査すべき。「積極的な誘導策」とは何か「東西線のインパクトを生かすための次の一手」とは何かを質問者側で具体的に提示する必要がある。 ６⇒「具体的な成果をどのように出していくか」を問題にするのであれば，「地域経済の活性化」にとって何が必要か，質問者側から具体的対策を提示する必要がある。 ７⇒「強い農業をつくっていく」ために何が必要か。これも質問者側から具体的に提案する必要がある。 ８⇒「経緯」「意義」は自分で事前に調べるべき。「小規模保育を導入する狙い」も自分で事前に調べるべき。 ９⇒「公共料金の設定を今日の範囲内容にした基本的な考え方」も事前に調査し，その判断の是非を問題にするべき。 10⇒「本事業の狙いとしての教育効果」も事前に調査する必要がある。 12⇒「受注者が資料の作成に時間を割くことができないことだけ」が課題なのか。何が課題かを調査して質問するべき。 13⇒すべて事前に担当者に聞けばすむ質問。

平成25年第4回定例会（第2日目）2013.12.06

発言順：2　岡本あき子（市民フォーラム仙台）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：消費税の引き上げに関連して ・消費税８％に伴う改正を提案された議案に関する分に限定した理由と10％に上った場合の対応 ・消費税増税に伴う仙台市財政の見通しと本市への影響 ・消費増税分は社会保障に充当し経済政策は本来の財源で行うべき（これについての市長の考え）	0	0	0	0
２：市立病院開院後の利用料金について ・安心して出産できる仙台市立病院の使命についての所見 ・分娩料を高額である宮城県平均に合わせ高くする理由 ・出産育児一時金の増額と自己負担金の低減の努力の必要性	1	1	1	3
３：復興公営住宅について ・復興公営住宅を２００戸増加するにあたり，整備する場所につき今までの説明と乖離した理由 ・被災者の意向を十分踏まえ，責任を持って最後の1人まで救済するという公約の確認	1	0	1	2
４：小規模保育施設への移行に伴う三歳以降の連携先を市が責任を持って確保するのか	0	0	1	1
５：既存の相談体制と新たに相談を開始する（仮称）起業支援センターの機能との違いとセンターによる支援の重点	0	0	0	0
６：津波浸水区域への追加支援について ・周知の徹底の必要性 ・宅地被害については浸水区域限定をはずすべきではないか	1	0	1	2
７：大規模な建築物の耐震診断を義務づけられている本市の対象件数と国・県の制度に加えての支援制度創設についての考え	0	1	1	2
８：仙台子ども体験プラザについて 品川区・京都市の先進事例を参考にして現場が混乱しないように調整を行うべき	1	1	1	3
９：県費負担教職員の給与負担等について 道府県から政令市へ移譲することになったことをきっかけに少人数学級の対象学年の拡充を真剣に検討する必要性と仙台市の学校教育のあり方	0	1	1	2
10：市民フォーラム仙台の基本政策に関連しての質問 ・行財政改革（事務事業評価を客観的なものにすること・外郭団体の整理統合・天下りの縮小と役職の定年制の導入等・外郭団体の健全経営の体制とプロパー人材の育成） ・応援職員の派遣と県内他市町への協力 ・仙台市からお世話になった自治体に県内他市町の職員不足の実情を訴えるべき	0	0	1	1
11：仙台市東道路の整備は国と県の責任で行われるべき（本市に新たな負担が生じるのではないか）	0	0	1	1
12：介護保険制度の改定について被保険者に対する公平性を保ちつつ老後の安心を担保する制度になるよう地元の声を出すべき	0	0	0	0
13：仙台市空き家等の適正管理に関する条例の速やかな成立と対策が着実に進むことの必要性	0	0	0	0
	4	4	9	17

【コメント】
１⇒「消費税８％に伴う改正を提案された議案に関する分に限定した理由」は事前に調査可能。 ５⇒「機能の違い」は事前に調査するべき。 ７⇒「本市の対象件数」は事前に調査すべき。

平成25年第4回定例会（第2日目）2013.12.06

発言順：3　跡部薫（復興仙台）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：今後のプロスポーツと本市のかかわりについての所見	0	0	0	0
２：復興事業の現状について	0	0	0	0
３：復興公営住宅の準備に向けての課題認識と運用の想定	0	0	0	0
４：被災宅地の復旧事業の進捗状況と今後の見通し	0	0	0	0
５：被災宅地に対する独自支援制度について ・助成金の申請が２割程度にとどまっている原因と対策 ・宅地の安全性を確保する制度（支援等）の創設の必要性	0	0	0	0
６：ポスト復興・ポスト２０１５年のまちづくりについて ・本市の人口動態の現状・今後の動向とその影響についての課題認識 ・国連防災世界会議へのインパクトのある取り組みの必要性 ・統一感のある中心市街地の歩行者の案内・誘導サイン等の整備の必要性	0	0	1	1
７：青葉通りの整備を今後どのような方針で取り組むのか	0	0	0	0
８：都市の魅力を高め、ミュージアム都市構想にもつながる本格的な音楽ホールの実現への期待	1	0	0	1
９：県費負担教職員制度のねじれ解消に伴う財源確保にむけた課題認識	0	0	0	0
10：法人住民税の一部国税化についての当局の課題認識と本市税収への影響	0	0	0	0
11：災害対応法制の強化と権限移譲についての国に対する取り組みの状況と今後の対応	0	0	1	1
12：広域的防災拠点について ・検討会議の報告書を踏まえて県は今後どのような構想・計画を策定して進める予定なのか ・県との協力関係をもとに本市がどのような役割を果たしていくのか ・今後の施設の改善や移転計画などまちづくりの観点との整合性を図ることの必要性と今後の対応と取り組み	0	0	0	0
13：いわゆる子ども・子育て関連三法下における各種の認可基準や全体概要が国からいつ頃示されるか。新制度に向けての取り組み方針	0	0	0	0
14：既存中小企業が直面する環境の変化に対応した地に足のついた支援の必要性	0	0	0	0
15：東西線開業に伴うバスと地下鉄の乗継指定駅における乗継割引運賃制度の検討状況・東西線開業に伴うバス路線の再編案の内容と策定スケジュール	0	0	0	0

16：本市の風水害対策について ・地域防災計画の風水害編の見直しのポイント・方向性 ・本市の避難に対する考え方の変更点と地域特性に応じたきめ細かい災害対策についての所見 ・幅広い知見を加えながら法改正などの国の動向を見極めつつ地域住民と行政が手を取り合って進めていくことの必要性	0	0	0	0
17：新仙台市立病院の利用料の改訂と周知・門戸の広い身近な存在としての役割・非紹介初診加算料についての市民の理解を得る方策	0	0	0	0
	1	0	2	3

【コメント】

１⇒質問があまりにも漠然としている。本市のかかわりの何が問題となっていて，それをどうするべきなのか，問題点と改善案を携えて質問するべき。
２⇒これも１同様。
３⇒これも１と同様。
４⇒進捗状況は担当者に事前に聞いておくべき。
５⇒「助成金の申請が２割程度にとどまっている原因」は事前に調査することが可能．対策も質問者側から提示する必要がある。「宅地の安全性を確保する制度」とは何か。専門家の協力を得て質問者側から提示する必要がある。
６⇒質問があまりにも漠然としている。人口動態が本市に及ぼす影響のうちポイントをいくつかの重要な点にしぼりそれと課題の関係を明確にし，質問するべき。
８⇒「都市の魅力を高め、ミュージアム都市構想にもつながる本格的な音楽ホール」とは何か。そのために何をするべきか質問者側から提示する必要がある。
９⇒「財源確保」ができるのかできないのか事前に調べてから質問するべき。
10⇒「本市税収への影響」は事前に調べる必要がある。
12⇒「県は今後どのような構想・計画を策定して進める予定なのか」は事前に調査すべき。「本市がどのような役割を果たすべきか」も質問者から提示する必要がある。
13⇒「認可基準や全体概要が国からいつ頃示されるか」は事前に調べておく必要がある。
14⇒「環境の変化に対応した地に足のついた支援」とは何かを質問者側から提示する必要がある。

平成25年第4回定例会（第3日目）2013.12.09

発言順：1　嶋中貴志（公明党仙台市議団）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
1：震災遺構の保存について ・これまでの検討状況 ・保存のための財源 ・保存する施設の決め方（県の遺構保存検討会と本市のメモリアル検討委員会との整合性，荒浜小学校・東六郷小学校等が対象になるのかどうか）	1	0	0	1
2：起業家支援について ・（仮称）仙台市起業支援センター設置費６９２万８０００円を産業振興事業団への補助金として（補正）予算化した理由 ・財源も含め，今回の補正と国の動き（経済産業省の８月３０日付発表）との関連 ・富士市の産業支援センターの視察結果と本市の起業支援センターへの参考 ・２９年度までに新規開業率を日本一の水準に引き上げるとの公約の「水準」の意味と今後の取り組み	0	1	0	1
3：小規模保育の整備費４億５０００万円について ・せんだい保育室から小規模保育施設への移行に伴う助成として２０ヶ所を想定しているとのことであるが，基本的な考え方と内訳の想定，対象施設を決める際の地域要件等 ・応募多数の場合の対応，企業が撤退した場合の保育の質の担保 ・個々の施設についての相談体制をきめ細やかに行っていくべき	1	0	1	2
4：津波浸水区域の被災者に新たな建てかえの直接補助，修繕への補助を行うことに決断したことに対する評価と対象者，対象となる経費，補助額等を市民の方が理解できるよう丁寧な説明・周知を行う必要性	0	0	1	1
5：仮設住宅に住む津波浸水区域と被災宅地の被災者に引越し費用を直接助成することの提案	0	0	2	2
6：仙台市地域防災計画に定める大規模工場等の用途及び規模を定める条例について ・仙台市地域防災計画に定める大規模工場等の用途及び規模を定める条例の必要性の根拠と具体に想定されるものは何か ・地域防災計画に定めておくべきこと（消防団の待機所） ・地域コミュニティーの拠点であるべき集会所の整備の必要性	0	0	1	1
7：仙台市子ども体験プラザについて ・協賛企業の決定経緯 ・ボランティアとの連携，協力の重要性	0	0	0	0
8：新市立病院について ・分娩料，特別室差額使用料並びに非紹介患者初診料改定の経緯 ・ソフト充実の重要性 ・市民に信用される、利用しやすい、患者に寄り添った医療，丁寧な説明・対応が求められていることについての所見	0	0	0	0
9：大学医学部新設について ・これまでの取り組み ・東北市長会の決議に至った経緯，決議内容 ・医学部新設が新市立病院の医師スタッフ確保に影響を与えることはないのか	0	0	0	0
10：復興の先に市長が描いているもの	0	0	0	0
	2	1	5	8

【コメント】
1⇒「これまでの検討状況」は事前に調査すべき 2⇒「（補正）予算化した理由」は事前に調査すべき ⇒「国の動きとの関連」も事前に調査可能 ⇒せっかく視察したのであれば，本市の起業支援センターの内容（誰が何をしているのか）とつき合わせして質問するべき 3⇒「対象施設を決める際の地域要件」は事前に調査すべき 6⇒「必要性の根拠と具体に想定されるもの」は事前に調査すべき 7⇒「協賛企業の決定経緯」は事前に調べる必要あり 8⇒「改定の経緯」は事前に調べる必要あり 9⇒「これまでの取り組み」「決議に至った経緯，決議内容」は事前に調査可能

平成25年第4回定例会（第3日目）2013.12.09

発言順：2　すげの直子（日本共産党仙台市議団）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：消費税増税を市民に転嫁せず、値上げ案は撤回すべき	1	0	1	2
２：所得の低い人ほど重くのしかかる消費税を、安定したい財源と見ているのかどうか	0	0	0	0
３：消費税増税が社会保障のためというのはまやかしであり，社会保障の財源になるならやむを得ないという論拠はなくなったのであるから消費税の増税を中止せよと国に求めるべき	0	0	1	1
４：国の責任を投げ捨て、社会保障に自己責任を持ち込み、国の財政負担を減らそうとする安倍政権の狙いに黙って従っていては市民の暮らしは守れないのではないか	0	0	0	0
５：国保の広域化に反対するべき。算定方式の見直しによって保険料が上がる世帯をつくらないため，市が特別な財政投入をするべき	1	0	1	2
６：被災者のために使うべきお金をため込んで別な使い方をしようなどと考えているのではないか。復興の先を見据えたまちづくりや新生・仙台への躍進で，被災者や市民の何がよくなるのか	1	0	0	1
７：復興関連費１２７３億の９割近い１１２３億の内訳がわからない 記載の仕方を改める必要があるのではないか	1	0	1	2
８：２４年度普通会計決算中の震災分の歳入総額が国に対する報告と市議会に対する報告とで６０億円も差があるが，国に認められない説明を議会や市民に対してしているのは問題ではないか	1	0	1	2
９：震災後の方が財政運営に余裕があるということは，被災者支援が進んでいないことのあらわれではないか。被災者の生活となりわいのための予算編成にするべき	1	0	1	2
10：津波浸水区域の方々を対象にした新たな支援制度を打ち出したことは重要な前進であるが，対象を津波浸水区域に限り，宅地被災者を対象から外している点で不十分であり，さらに拡充する必要があるのではないか。	0	0	1	1
11：被災宅地復旧工事助成金制度の延長では不十分。支援の拡充や新しい制度が必要。経済的な理由で危険な宅地を復旧できない方を対象に、助成制度を拡充すべき。本市の支援制度では救われない宅地が多く存在しており，多くの宅地被災者は取り残されてしまう	1	0	1	2
12：復興公営住宅について ・市外被災者も含めた上で改めて復興公営住宅の追加整備戸数を早急に示すべき ・復興公営住宅を追加整備する場所は，これまでの計画戸数に対する希望が上回っている地域を重点にすべき。宮城県が直接整備する災害公営住宅については，北根黒松の県営住宅の跡地，県が造成し大きな被害を受けた折立に整備することを県に求めるべき ・収入要件については，様々な事情を考慮して被災者が安心して住み続けられるよう，特別な手だてを講じることが必要 ・敷金は免除するべき ・復興公営住宅や民間賃貸住宅に引越しする場合の一時金の支援を検討すべき	1	0	2	3
13：被災者の命や健康が脅かされていることに対する支援を県や国に強く求めると同時に早急に市独自で被災者の医療費，介護免除制度を復活すべき	0	0	0	0

14：市民の人権を守る立場で、秘密保護法は撤廃せよと強く主張すべき	0	0	1	1
	8	**0**	**11**	**19**

【コメント】
３・４⇒質問なのか自説の展開（プロパガンダ）なのか。前者であれば獲得目標を明確にし，質問の形式に工夫を加えるべき 11・12⇒問題点を整理し，具体的な改善案を伴った質問

平成25年第4回定例会（第3日目）2013.12.09

発言順：3　小山勇朗（社民党仙台市議団）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：安倍政権の政治姿勢についての市長の見解	0	0	0	0
２：特定秘密保護法案を市長としてどのように捉え，問題となる案件はないのか，どのように対応しようとしているのか	0	0	0	0
３：復興住宅の建設を急ぐと同時に，賃貸住宅を希望する方を含め，被災者が安心して入居できる，さらなる支援体制の必要性	0	0	1	1
４：被災宅地復旧助成申請期間の１年延長だけでは，被災宅地の復旧は進まないのではないか（きめ細やかな相談，優しい指導の必要性）	0	0	1	1
５：介護保険について ・社会保障審議会介護保険部会で，一定以上の所得がある人については介護保険の自己負担を２０１５年度から現行の１割を２割に引き上げることで大筋合意したこと ・比較的軽度である要支援者への給付を訪問介護とデイサービスについては市町村に事業を移そうとしていることとそれに対する地域格差 ・要支援認定者数が増加する中で，市町村に事業が移行された場合の負担 ・夫婦で介護サービスを利用している世帯の自己負担の倍増 ・以上のことを含め，当局として介護現場の声をどのように把握され，これらの課題についてどのように考えているか	2	0	2	4
６：国民生活が厳しい中での消費税増税に伴う公共料金の引き上げは少しでも避けるべきではないか	0	0	1	1
７：国民健康保険料の改正の背後にある国における一連の流れについて ・重くなる保険料負担に対する対応 ・国保の広域化に伴う問題点と国に何を求めるか	1	0	1	2
８：市立病院の分娩料の引上げの理由。特別室差額使用料を抑える方策	1	0	1	2
９：パソコン基本ソフト２０１４年問題と更新が間に合わないとされる２３８１台についての更新計画	0	0	0	0
	4	0	7	11

【コメント】
５⇒介護保険の問題点を整理した質問。

平成25年第4回定例会（第4日目）2013.12.10

発言順：1　やしろ美香（自由民主党）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：いじめ防止の基本方針案について ・いじめ防止対策推進法の施行を受けての本市の検討状況 ・教師の目が届かないところでのいじめに対し，どのような対応を考えているか ・ネット上のいじめに対する現在の取り組み ・様々な相談に対応できるワンストップサービスを考える時期にきているのではないか ・専門家の機能を備えたワンストップサービスを，電話やメールで利用できるようにするべきではないか。出来る限りワンストップサービスに集約するべきではないか ・性暴力についてはワンストップの２４時間支援体制を考えるべきではないか。冷静さを欠いた被害者でも容易にアクセスできる方法を最優先に考えるべきではないか	1	0	2	3
２：市民向けに消防局が提供している救急救命ｅラーニングのようなシステムを市民向けに提供していく考えはあるか	1	0	1	2
３：高齢化社会のスポーツ施設について ・仙台市の策定したスポーツ推進計画が２０１６年に見直しをすることになっているが，高齢化も視野に入れたスポーツ施設の充実が必要ではないか ・高齢化イコール介護ではなく，高齢者の健康をいかに保つかという点に焦点を当てるべき ・仙台市が管理運営している温水プールの概要と充足率 ・スポーツ施設の防災拠点化 ・以前の施設整備計画のなかで整備できなかった，あるいは先送りしたものにどんなものがあるか ・どのような理由があって整備できなかったのか ・民間施設の活用の働きかけ ・スポーツ施設整備を検討する場合，高齢者の健康増進も視野にいれるべき	0	0	1	1
	2	0	4	6

【コメント】
１⇒専門家を背後に備えたいじめのワンストップ相談体制をとっている他都市の事例があるなら，それを引き合いに出して質問すれば更に説得力が増す ３⇒「仙台市が管理運営している温水プールの概要と充足率」は事前に担当者に確認するべき。実際にスポーツ施設の防災拠点化をしている事例があれば引用すべき。「どのような理由があって整備できなかったのか」「民間施設の活用の働きかけ」「スポーツ施設整備を検討する場合，高齢者の健康増進も視野にいれるべき」は具体的に何をすることを求めているのか不明。何をすべきか，何ができるのかを事前に調査すべき。

平成25年第4回定例会（第4日目）2013.12.10

発言順：2　加藤けんいち（市民フォーラム仙台）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：地域コミュニティー形成に向けた取り組みについて ・地域コミュニティー活性化に取り組んできた評価 ・仙台版まちづくり特区の今後のスケジュールと市長が描く特区の展望 ・地域連携職員の役割 ・仙台版まちづくり特区のモデル事業とモデルとする地域で活動している団体が一堂に会する組織の必要性 ・要援護者支援を含め，地域の福祉政策と地域コミュニティーの視点の重要性。区役所全体での取組みの必要性。各区の健康福祉センターが地域福祉ネットワークの中心的役割を担うべき	1	1	1	3
２：町内会への加入促進に向けた今後の取り組み ・子ども会やＰＴＡなど小学校や中学校を通じた保護者のネットワークの重要性 ・町内会も考慮した地域コミュニティーの形成・活性化を目指して条例の制定を検討すべき	0	1	1	2
３：マンション等集合住宅における町内会加入率の推移と課題。販売後に管理会社に引き継ぎが行われていないために住民に伝わっていないのではないか ・集合住宅における町内会加入率が低い原因（建設会社・建設主→不動産会社→管理会社→管理組合に伝わっておらず，管理組合から町内会加入の呼びかけをしていないことが原因ではないか）。管理組合への取り組みの必要性 ・地域コミュニティーの形成と共同住宅新設時からのハード面の取り組み（関係部局の連携）の必要性 ・集合住宅における地域コミュニティーづくりと防災力の向上 ・集合住宅における災害時要援護者への周知徹底の必要性	1	1	1	3
４：町内会への登録者情報の登録状況と町内会未加入者への加入の促進　要援護者支援のソーシャルワーカーの役割	1	0	1	2
５：学びのコミュニティ推進事業をどのようにまちづくり事業につなげていくのか　教育局が所管している学びのコミュニティづくり推進委員会と区所管の地域コミュニティー事業の更なる連携の必要性	0	0	0	0
６：仙台リレーマラソンの来年以降の開催会場，仙台ハーフマラソン課題（当日受付も可とすべき，完走記録証の当日発行を目指すべき）	1	1	1	3
	4	4	5	13

【コメント】
３⇒「町内会の加入率の推移」は事前に調べておく必要がある。 ⇒地域コミュニティー・管理組合・町内会の関係を掘り下げる必要があるのではないか。町内会に加入せずとも管理組合が集合住宅のコミュニティーを担っているのが現状ではないか。集合住宅の住民が町内会に加入するメリットは何か，それを集合住宅の住民がどのように認識しているのかを突き詰める必要がある ４⇒「登録者情報の登録状況」は事前に調べておく必要がある

平成25年第4回定例会（第4日目）2013.12.10

発言順：3　渡辺博（復興仙台）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：本市の図書館運営について ・本市において武雄市をはじめ，先進的な取り組みをしている図書館を視察した感想 ・本市の図書館改善の必要性と課題意識 ・平成２４年１０月１９日付文部科学大臣告示（図書館の設置及び運営上の望ましい基準）が出された背景，目的についての認識，告示を受けての本市の対応 ・仙台市直営の本館五館についても指定管理者制度による運用が有効ではないか ・市民の意識調査を行うなどして，更に市民が利用しやすい図書館整備運営を図っていくべきではないか ・仙台市図書館振興計画を基本としながらも，利用者本位の柔軟な対応が必要ではないか	0	1	1	2
２：まちづくりについて ・仙台駅東地区の今後についての考え ・基盤整備に整合性が取れないところも出てきたことについての感想 ・無電柱化を（差し当たり仙台駅東第二地区南側，特に都市計画道路東八番丁小田原線を中心に）計画的に進める必要性	1	0	1	2
３：仙台駅東口駅前広場への旧高速ツアーバスの乗り入れについて ・仙台駅前広場再整備の進捗状況 ・バス停の集約化についての進捗状況と今後の見通し ・道路を恒久的に長距離バスの発着場にすることは問題ではないか。それについての認識とこれまでの経過 ・整備中のバス停集約化計画に旧高速ツアーバスを追加し，一斉に集約化を図るべきではないか。現在検討中の仙台駅東口駅前広場の高速バスターミナルに集約すべきではないか	1	1	2	4
４：都市計画道路元寺小路福室線の整備促進と渋滞解消について ・整備促進の現在の見通し ・渋滞についての認識 ・渋滞対策を早急に講じるべき	0	0	1	1
５：宮城県の東道路の計画によって地元住民が迷惑をこうむることは極力避けなければならない	0	0	1	1
	2	2	6	10

【コメント】
１⇒「利用しやすい図書館整備運営」とは何か。指定管理者制度に移行することなのか。指定管理者制度の先にその鍵があるのか。仙台市の図書館運営の問題点を具体的に摘示し，「更に市民が利用しやすい図書館整備運営」とは何か，「利用者本位の柔軟な対応」とは何かを具体的に明らかにするべき。そのためには仙台市の図書館運営の実態の調査が不可欠 ３⇒「仙台駅前広場再整備の進捗状況」「バス停の集約化についての進捗状況」は事前に調査するべき

平成25年第4回定例会（第4日目）2013.12.10

発言順：4　佐々木真由美（公明党仙台市議団）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：プレハブ仮設住宅について ・仮設住宅の集約の時期。空きが生じる仮設住宅の利活用についての所見 ・持ち出しできない家財道具・設備の活用の可能性 ・復興公営住宅の入居する際の敷金の猶予の説明と周知の必要性 ・復興公営住宅に移転後のコミュニティー支援の必要性（職員の期間限定常駐による相談窓口設置）	1	0	2	3
２：津波で被災した小学校について ・復興公営住宅に転居し通学する学校も変わる被災児童の心のケアについてどう考えるか ・夏休みの学校開放プールはスクールバスを運行し，いつもどおりのプールで遊ぶことができるようにするべきではないか	1	0	2	3
３：公共施設のバリアフリーについて ・既存の公共施設のバリアフリーへの早急な対応の必要性 ・市内各施設のトイレの早急な環境整備の必要性	2	0	2	4
	4	**0**	**6**	**10**

【コメント】
１⇒「空きが生じる仮設住宅の利活用」「持ち出しできない家財道具・設備の活用」について，質問者の具体的な案を提示する必要がある ２⇒「被災児童の心のケアについてどう考えるか」と聞くのではなく，このようにするべきではないかと質問する必要がある。プールについては具体的な提案を伴った質問 ３⇒現場調査を踏まえた優れた質問

平成25年第4回定例会（第4日目）2013.12.10

発言順：5　庄司あかり（日本共産党仙台市議団）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：県道塩釜亘理線より東側の地域を災害危険区域に指定したことの正当性の検証 ・宅地被災地では工夫を重ねて柔軟な対応したが，津波被災地ではシミュレーションを建前にして，かさ上げ県道で一方的に線引し，方針を変えようとしなかったことに合理性があったのか ・移転を望む方々については生活再建を早急に進め負担の軽減を図るべきだが，住み続けたいと願う方々がいる限り，少数でもその可能性を探るべきではないか ・災害危険区域に指定された跡地に震災前に匹敵する程多くの人が集まるのは，命を守るという目的と矛盾するのではないか ・「災害危険区域指定」「住居建築禁止」「集団移転」は浸水６ｍ程度の状態が長時間持続するというシミュレーション結果を本当に見て決めたのか。シミュレーションは方針の後付の補強ではないか ・情報公開資料によれば２０１１年３月２２日，３月２９日には，市役所内部で集落の集団移転が示されている。その方針に忠実に今日まで進んできたのではないか ・海岸防潮堤の高さＴ．Ｐ．７．２ｍは津波ではなく高潮に対応するものであり，津波に対応するという説明は事実と異なるのではないか ・（高潮に合わせたことを認めるのであれば）なぜ専門家・議会・市民に対し津波に対応すると説明してきたのか ・津波シミュレーションの計算条件として，海岸堤防や河川堤防，かさ上げ道路などを出入りする水は全て越流のみと理解してよいか ・県道の側面に水路の開口部はあるのか ・津波シミュレーションは実際の状況と大きく異なるのではないか。シミュレーションをやり直すべきではないか ・集団移転以外にも命を守る方法があるのではないか。避難施設や避難方法を様々組み合わせる事が必要ではないか ・災害危険区域に住居さえ建てなければ逃げられるというのは実態と違うのではないか ・津波被災地域の人々がどのようにして助かったのかを検証すれば，地形や避難場所によって集団移転以外の方法があることもわかったのではないか ・他の自治体では災害危険区域に条件を設けて，住居の建築を認めているところもある。震災に乗じて海岸公園整備を進めようとする思惑があったのではないか。住民を追い出して美しい風景を取り戻すことはできないのではないか ・来訪者の安全対策はそこに住民がいるから可能となるのではないか ・生命を守るために集団移転しておきながら，海岸公園は安全であるから来てくださいというのは二枚舌ではないか ・都市機能を集約すればいいという単純なコンパクトシティは仙台の魅力向上につながらない（多様な自律的なコミュニティの構築が魅力向上につながる）のではないか ・住民と徹底的に話し合い住民本位の復興へ軌道修正すべき	3	1	3	7
	3	1	3	7

【コメント】
１⇒県道塩釜亘理線より東側の地域を災害危険区域に指定したことを計画の根本にさかのぼって検証し，問題点を洗い出した極めて優れた質問。情報公開条例を使って計画の源流をさかのぼることの重要性を示している。市の計画の進行と平行して（計画が固まる前に）このような検証を行えば更に効果的となる。

平成25年第4回定例会（第4日目）2013.12.10

発言順：6　ひぐちのりこ（社民党仙台市議団）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：平和行政，平和教育の推進について ・戦災復興記念館を見学している学校数と展示室などの教育内容 ・仙台空襲など戦争被害を受けた人が直接話を聞いたり，地域の市民センターと連携しての取り組み事例と反響 ・本市でも美里町と同様の取り組みを行うべき。原爆の実態や被爆体験をどのように継承していくのかその具体例 ・平和教育の教材や科目を越えた横断的な取り組みの事例 ・対話による解決の糸口を探る能力を身につけることについての教育における具体的取り組み ・平和教育と平和行政についての本市の見解 ・非核平和都市宣言を行うべき	1	1	1	3
２：未婚のひとり親家庭に保育料などにつき寡婦控除のみなし適用をするべき	1	1	1	3
３：性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターについて ・性犯罪の認知件数は総計よりもっと多いのではないか ・本市でも性犯罪・性暴力被害者に対する急性期の支援をするワンストップの拠点が必要ではないか ・国の補助金の交付を受けるべき	1	1	1	3
４：東北朝鮮初中高級学校への補助金打ち切りについて ・政治的外交問題と教育問題は切り離すべき ・打ち切りについて財政問題を持ち出すのは矛盾ではないか ・私立外国人学校振興補助金支給の復活を強く求める	0	0	1	1
５：市民利用施設予約システムについて ・稼働が遅れた原因など，これまでの経過やヘルプデスクへの問い合わせなど，現在の状況 ・遅れた事による今年度の開発業務の経費 ・システムの稼働が中止した期間の対応の温度差と市民からの問い合わせに対する対処 ・運用や窓口対応について施設ごとに連携できるようコーディネートすべき。新システムへの移行に関する広報のあり方や運用についての事後の検証の必要性とスケジュール	1	0	1	2
	4	**3**	**5**	**12**

【コメント】
１⇒「見学している学校数と展示室などの教育内容」は事前に調査するべき。「取り組み事例と反響」も事前に調査するべき。「横断的な取り組みの事例」も事前に調査するべき。 ５⇒「現在の状況」，「今年度の開発業務の経費」は事前に調査するべき。

平成25年第4回定例会（第4日目）2013.12.10

発言順：7　及川英樹（みんなの党・みんなの仙台）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
1：認知症対策について ・今後の認知症施策の方向性についての見解 ・社会資源の利用状況をどのように把握しているか ・情報交換や研修などにどのように取り組んでいるか ・認知症疾患医療センター運営事業などの診療環境の構築が急がれるのではないか ・同事案の今後の取り組みについて ・宮城県との連携状況と今後の取り組み ・豊齢力チェックリストを有効活用することによる早期発見，支援につなげる必要性 ・地域資源をネットワーク化し，マンパワーを活用し相互連携を図る取り組みについて ・高齢率の高いところが地域資源のネットワーク化を図る必要があるのではないか ・地域包括支援センターの事業によっては各区が中心となり，全体のマネジメントを行い，又認知症地域支援推進員を各区役所に配置し，専門的に取り組むべき ・市民に親しみやすく，寄り添えるように取り組む必要がある ・あらゆる世代に認知症の知識や対応などを周知徹底することの必要性	1	1	1	3
	1	1	1	3

【コメント】
1⇒（どのように取り組んでいるのかを当局に尋ねるのではなく）本市の実施している認知症対策の何が良くて何が良くないのかを実態調査によって浮き彫りにして質問すれば他都市の事例も生きてくる。

平成25年第4回定例会（第5日目）2013.12.11

発言順：1　大泉鉄之助（自由民主党）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：旧来の福祉事務所機能と市民に密着した対人サービスの保健所機能は従来どおり各区の保健福祉センターに残し，司令塔としての保健所機能は本庁に一元化する時期に至っているのではないか。	1	1	1	3
２：返還墓所を再整備し，貸し出しの促進を図るべき	1	0	1	2
３：子宮頸がん予防ワクチンのリスクとメリットを明確に市民に開示し，市民の対応と医療機関の対応を再検証し，誤りなき対策を徹底するべき	2	0	2	4
	4	1	4	9

【コメント】
１⇒一元化した場合としない場合の違いをもっと具体的に指摘するべき（「微妙な差」とは何か。専門的・技能的・広域的な観点からの支援」とは何か）。 ３⇒調査に基づく具体的提案を伴った質問。

平成25年第4回定例会（第5日目）2013.12.11

発言順：2　佐藤正昭（自由民主党・仙台）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：利害関係者との接触に関する届け出制度が民間企業，ＮＰＯ，市民との溝を生んでいるのではないか。市長は職員に対し，市民との連携や交流をもっと呼びかけるべきではないか。	0	0	1	1
２：仙台市内にあるスポーツ施設等をフルに活用して２０２０年の東京オリンピック・パラリンピックの選考試合や事前合宿について積極的に誘致活動を進めていくべきではないか。	0	0	1	1
３：東北の住民，とりわけ宮城県民，仙台市民，楽天野球団，宮城県，仙台市，経済界等全てが一体となって全天候型のＫスタにかわる野球場を作るべきではないか。宮城野原のＪＲ貨物ヤード跡地が適地ではないか。	1	0	1	2
４：優れた音響特性を有する大規模な音楽ホールを作るべきではないか。	1	1	1	3
５：仙台城趾の観光資源の活用として，夜に２時間だけ本丸の上に浮かび上がる仙台城の櫓や大手門の演出をしてみてはどうか。	1	1	2	4
６：仙台空港の民営化について県からどのようなアプローチや相談があったか。仙台空港の民営化についての所見と希望。	0	0	0	0
７：災害救助法を改正して，指定都市の市長を救助の主体とするよう国に申し入れるべき。り災証明の課題についても，国は早期に決断し，整理する必要がある。	1	0	1	2
８：国連防災世界会議の機会に震災の経験と教訓を全世界に向けて発信し，次世代に継承させるべき。世界に向けての情報発信は一過性のものであってはならない。	0	0	1	1
９：被災地の復興を支え，全国，世界の震災，津波対策に貢献するプロジェクトの拠点施設を本市に集中させるべき。	0	0	1	1
10：市長と知事の胸襟を開いた話し合いの必要性，副市長と副知事の話し合いの必要性。	0	0	0	0
	4	2	9	15

【コメント】
１⇒市民と職員との交流不足の原因が「届け出制度」にあるという調査結果を示すべきである。 ３，４⇒プラスの面だけではなくマイナスの面（財政負担）も同時に調べる必要がある。他都市の音楽ホールの収支はどうなっていたのか紹介するべき。 ６⇒「県からどのようなアプローチや相談があったか」は事前に調査可能。 ７⇒国は何を決断し，何を整理すべきか具体的な案を提示するべき。

平成25年第4回定例会（第5日目）2013.12.11

発言順：3　佐藤わか子（市民フォーラム仙台）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：発達相談支援センターに求められるもの。アーチルに相談に行かないで学校に入ってから不適応行動を起こす子供に対応する療育（就学前の療育センター）の必要性（障害者福祉センターにそのような機能を持たせるべき。教育局で派遣している補助教員の数がうなぎ登りに上っている事実を真剣に受け止めるべき。専門家研修を取り入れていく必要性）	2	1	2	5
２：障害児教育について ・来年４月，小松島にできる特別支援学校の開設で，仙台市の特別支援学校に通っている子供たちの飽和状態及び通学環境がどのくらい改善されると見込まれているか。 ・仙台市の支援学校学校に対する認識と特別支援学校をつくるに当たり，何が一番重要か。 ・特別支援教育にかかわる教職員のレベルアップ，発達障害に力のある教員の採用の必要性 ・特別支援学級の定員の見直し（柔軟な対応ができる定員のあり方の検討） ・就学先の選定等，就学指導のあり方の検証 ・特別支援学校の設置義務は県にあるから，市町村は特別支援学級だけつくればいいということではなく，仙台市の置かれている子供たちの状況をしっかりと受けとめて，必要であれば仙台市がつくるという決断も重要ではないか。	2	1	3	6
３：公共施設マネジメント計画について ・市民とのかかわり方（計画策定段階での市民参加の必要性） ・仙台市の公共施設の将来構想（基本的な考え方） ・施設ごとの具体的なアクションプランの有無 ・複合施設化（モデル施設の選定） ・学校施設の有効活用 ・フィンランドセンターの有効活用 ・旧宮城町青下にある水道記念館の有効活用 ・文学館の有効活用 ・使われなくなっている施設の整理の決断の必要性，複合化も視野に入れる必要性。	2	1	2	5
	6	3	7	16

【コメント】
１，２，３⇒調査に基づき問題点を整理し，改善案を伴ったきわめて優れた質問。

平成25年第4回定例会（第5日目）2013.12.11

発言順：4　鈴木勇治（復興仙台）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：本市の人事考課制度について ・業務改善意見提案制度の審査はどのようなメンバーで審査されているのか。市民の参加があってもいいのではないか。 ・受賞した提案制度は庁内外にどのようにアピールしているのか。仕事として，どのような生かされ方をしているのか。 ・受賞した提案者の人事の中での評価	0	0	0	0
２：本市の組織のあり方について ・来年度の組織改正の方針 ・企画調整部門，下水道部門の局体制としての分離の必要性	0	0	0	0
３：スポーツツーリズムへの取り組みについて ・スポーツツーリズムについての市長の認識 ・市当局として，スポーツツーリズムの推進にどのように関与し，構築していくのか。 ・経済観光面でのスポーツツーリズムへの取り組み。 ・地域の観光団体，スポーツ団体が連携した誘致組織が必要ではないか。	1	1	1	3
４：ＮＰＯ法人の福祉施策面での活用と不正受給防止について ・本市の事案で，不正受給防止に関し，行政側のチェックがどのように行われたのか。 ・法人を構成する個人にも請求する必要性。 ・国に対し，法改正などの対策の必要性を訴えるべき。 ・エコライフの事案について（告訴した５００万円の処理，不正受給があった３億円余の金額についての国からの指示，本市の国や県への働きかけ） ・サポートチームｉの事案について（再発防止等，最近の他法人の指導監査の結果）	0	0	1	1
５：介護保険制度と基盤整備について ・訪問介護及び通所介護の介護予防給付が市町村事業に移行された場合，財政負担拡充や保険料の値上げ要因になるのではないか。 ・介護予防にＮＰＯやボランティアを活用する国の方針は，サービスの劣化を招くのではないか。 ・介護予防は国が一元的な制度として管理すべきであり，地方への転嫁は国民の理解を得ることができないのではないか。 ・訪問介護や通所介護の給付額の問題を国にきちんと意見していく必要があるのではないか。 ・利用者負担が一割から二割に引き上げられることによる利用回数等への影響とこれに対する対応 ・定期巡回，随時訪問の訪問介護，訪問看護事業についての今後の取り組み ・事業の継続的かつ安定的な運営に向けた対策の必要性とそれについての所見 ・特養整備が進捗しない原因についての分析と今後の取り組み。 ・資材高騰，作業員不足により，工事費が大幅に増加したことによる特養，障害者施設，保育所等の施設整備資金計画の見直しと緊急避難的措置としての補助金の上乗せ。 ・特定施設の整備枠の大幅な拡充の必要性	2	0	2	4

６：国の農政改革と本市の対応について ・国の政策転換による本市の農業への影響とそれへの対応。 ・需要と供給をつなぐ付加価値向上のためのバリューチェーンの構築についての本市の取り組みと今後の進め方。 ・本市農業の競争力強化，体質強化の取り組みへの加速等，市長の積極的対応の必要性 ・多面的機能に着目した日本型直接支払い制度による変化とそれに対する対応。 ・担い手不足や集落の高齢化の現状と今後の農業施策の方向性 ・全庁を挙げた取り組みの必要	1	0	1	2
	4	1	5	10

【コメント】
１⇒「業務改善意見提案制度の審査はどのようなメンバーで審査されているのか」は事前に調べる必要がある。 ２⇒「分離の必要性」の根拠を詳しく指摘する必要がある。 ４⇒「不正受給防止に関し，行政側のチェックがどのように行われたのか」「エコライフの事案」「サポートチームｉの事案」は事前に調査し，行政側のチェックのどこに問題があったかを指摘する必要がある。 ６⇒国の政策転換に対し，本市として何をなすべきか（六次産業化以外にあるのかないのか），質問者の考えを明らかにするべき。

平成25年第4回定例会（第5日目）2013.12.11

発言順：5　佐藤和子（公明党仙台市議団）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：仙台市立病院の分娩料について ・分娩料改正の経緯 ・分娩料の算定基準 ・今後の分娩料（一定期間は据え置くことを希望） ・分娩件数の推移 ・公的病院としての今後の取り組み	0	1	1	2
２：成人の風疹予防接種について ・先天性風疹症候群の患者数の急増についての認識 ・市民への周知，医療機関への周知徹底の必要性 ・成人の風疹予防接種費用の助成（継続すべき。県に継続と恒久化を要望すべき）	1	0	1	2
３：復興公営住宅の追加整備について ・太白区茂庭台の整備について（分散し，茂庭土地区画整理事業地内にも整備すべき） ・茂庭台の整備についての利便性への配慮の必要性	1	0	1	2
	2	1	3	6

【コメント】
１⇒分娩料にまつわる課題とその背後の解説を摘示し，当局の見解を尋ねるだけの質問は迫力に欠ける。仙台市で出産しようとしている女性がどのような状況にあるかを調査し，分娩料をどうするべきか，質問者の考えを明確にするべき。

平成25年第4回定例会（第5日目）2013.12.11

発言順：6　ふるくぼ和子（日本共産党仙台市議団）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：子供，子育てをめぐって，支援制度が大きく変わることと市の対応について ・児童福祉法第２４条１項を原点として明確にするべき。 ・認定こども園等に移行しない選択をするべき。 ・幼稚園については，国に私学助成制度について拡充を要望し，市としての支援制度も継続するべき。 ・公定価格は保育所運営に必要な個別費用の積み上げ方式で対応させるべき。国と自治体の負担区分を明確にさせるべき。 ・補助金制度の存続を強く国に求めるべき。 ・保護者や保育者の願いにこたえて取り組んできた事業は継続するべき。 ・せんだい保育室を認可保育所へ移行できる支援を強めるべき。 ・保育士配置基準の引き上げと保育士確保，養成の取り組みとあわせて国に求めるべき。 ・せんだい保育室の今の水準を維持する条例にし，それに必要な支援をすべき。 ・３才になった以降の保育を市が責任を持つべき。 ・現行の市立保育所の保育の水準を下げずに維持するべき（市立保育所の廃止，民営化と相容れない） ・保育の必要性の事由に当たらない保護者のもとで養育されている障害児の統合保育を条例に入れて実施すべき。 ・待機児童園の創設 ・新制度による混乱と市の考えを明確にする必要性。 ・保育に収益を上げることを目的とする企業が参入することと市の保育責任。 ・市の条例化で，保育料が引き上げられないよう，応能負担の原則を堅持し，国に対しても負担と公的責任を求めるべき。 ・条例化にあたり，児童館と児童クラブを存続，発展させるべき。 ・市は児童福祉法の理念と原理の立場に立ち，子供たちの健やかな成長の保障と，子育てしやすい仙台市へと成長いくべきではないか。 ・新制度で不安はない，懸念もないと考えているのか。 ・児童福祉法の理念と原則の立場で行うことを明確に発言してもらいたい。	1	1	2	4
	1	1	2	4

【コメント】
１⇒あるべき姿（原点・原理）と現状を対比させ，あるべき姿に近づくことの努力を怠っている国と市を批判するワンパターンの質問を，説得力あるものに変えるためには何が必要かを検討するべき。当局が他都市に比べて努力している点を評価し，その上で注文をつけるなど，現場の担当者をその気にさせる質問の導入も検討する必要があるのではないか。

平成25年第4回定例会（第6日目）2013.12.12

発言順：1　石川建治（社民党仙台市議団）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：社会教育的側面を持っている集客施設とまちづくりの関係について ・社会教育的側面を持っている集客施設の理念・施設の目的　集客施設の必要性を市民に示せていないことが問題（混乱）の原因ではないか ・施設周辺も含めた工夫をもって施設整備や施設活用を行ってきたか ・戦略的赤時施設という視点に立つ施設整備についての所見	0	1	1	2
２：食の安全・安心の確保と農政課題について　・和食がユネスコの無形文化遺産に登録されたことについての所見と和食文化の保護の取り組み ・米政策の激変に対する当局の認識と今後の影響についての所見・東部地区の農業の振興に甚大な打撃を与えるのではないか。その点についての市長の所見 ・加工食品の原料原産地表示等について国に積極的に働きかける必要があるのではないか ・国に対しＴＰＰからの撤退を求めることが重要ではないか ・ＴＰＰ交渉が合意した場合の本市への影響と対策。 ・フードバンクをはじめとする食品ロスの対策として，どのようなことができるか検討する必要があるのではないか ・現在までの農業基本計画に基づく事業等についての評価と総括 ・新たな農業基本計画の策定を進めるべきではない ・（仮称）食品安全条例の制定に着手するべきではないか	0	0	1	1
	0	1	2	3

【コメント】
１⇒鉄道博物館と大宮盆栽美術館の例を引くのであれば，さらに掘り下げて仙台市の社会教育的側面を持っている集客施設の理念として何が欠けているのか，施設の目的として何が不足しているのか，それと問題（混乱）がどのように関連しているのかを解明して質問するべき。 ２⇒課題をあげてそれにまつわる背景事情を解説し当局の所見・取り組みを尋ねる質問の意義を再検討する。仙台市として「最も必要な次の一手」を質問者側で提示する必要がある。

平成25年第4回定例会（第6日目）2013.12.12

発言順：2　早坂あつし（みんなの党・みんなの仙台）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：本市の自転車マナーなどについて ・道路交通法の改正に伴い自転車マナー及びルールについて本市は市民にどのように周知徹底していくのか ・コミュニティサイクルサービスＤＡＴＥ　ＢＩＫＥの利用状況と交通マナーの向上 ・本市での安心・安全な自転車利用環境の現状 ・本市での自転車保険の認識 ・歩行者と自転車ルールとの関係についての認識と取り組み ・交通公園の活用と利用者数 ・条例制定の必要性	0	1	1	2
２：キャッチセールスと言われる強引な客引きについて ・本市でのキャッチセールスの現状と防止の取り組み ・市民・警察と協力・連携し問題発生を未然に防ぐべき。条例制定も視野に入れるべき	0	1	1	2
３：振り込め詐欺について　本市独自で取り組んでいる対策があるのか。ここ数年の本市での被害金額	0	0	0	0
	0	2	2	4

【コメント】
１⇒「コミュニティサイクルサービスＤＡＴＥ　ＢＩＫＥの利用状況」「自転車利用環境の現状」等は事前に調査する必要がある。課題をかかげて市の認識を尋ねる質問の意義について検証する必要がある。自転車事故を防ぐために仙台市が今やるべきことは何かをはっきりつかんで質問する必要がある。 ２⇒「現状と取り組み」は事前に調べておくべき ３⇒「本市独自で取り組んでいる対策」「ここ数年の本市での被害金額」は事前に調べるべき

平成25年第4回定例会（第6日目）2013.12.12

発言順：3　鈴木繁雄（自由民主党・仙台）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：道路交通法の改正（自転車は車輌・左側通行）についての対応	0	0	1	1
２：慶長遣欧使節出帆４００周年記念事業について ・市民・議会・市長が一体となって心通うものにするべきではないか。 ・より広く，より深く市民・県民が４００年前の偉業に触れ，感じ，学ぶ事が出来るよう取り組むべきではないか。 ・セビリア市コリア・デル・リオ市との歴史的姉妹都市交流と記念事業をどのように捉えているか，今後の取り組み	1	0	1	2
３：客引きについて ・新宿区・豊島区と同様の条例の制定を急ぐ必要があるのではないか。 ・アルコールを出す飲食業はすべて客引きをしてはいけないという新宿区のような明快な条例を作る以外客引きを止めさせる方法はないのではないか。	1	1	2	4
４：石油供給と備蓄について ・法改正を受けて，事業者からの情報収集の整備状況 ・地域における中核サービスステ―ションの届け出義務等の新たなる対応の整備状況 ・ガソリン（ガソリンスタンド）の確保 ・ガソリンスタンドの減少に対する手だて ・消防局に燃料備蓄ガソリンスタンドを設置すべき ・交通局の貯蔵タンクの増設等適切な対応の必要性 ・非常時の対応計画を着実に立案・実効するため石油流通特性を認識した対策が求められている ・各家庭の備蓄が一週間とされたこと等現況をどのように掌握しているか。一週間の備蓄を仙台の地域文化として次代につないでいく必要性とそのための対策と対応	1	0	1	2
５：杜の都防災力向上マンション認定制度について ・認定制度の普及の必要性と所見・対応 ・市営住宅・県営・公団住宅などの対応，復興住宅の震災対応状況	0	0	0	0
	3	1	5	9

【コメント】
４　他都市の備蓄の事例を調査しそれとの比較で質問すれば仙台市の備蓄の何が不足しているか浮き彫りになるのではないか。

平成25年第4回定例会（第6日目）2013.12.12

発言順：4　木村勝好（市民フォーラム仙台）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
1：大規模災害発生時における本市の権限確保について ・今後も粘り強く災害救助法などの改正を求めていくべき。 ・大災害発生時における本市内での仮設住宅の設置など，必要な事務を本市に速やかに委任することについて，宮城県との間で，あらかじめ協定や覚書を交わしておくべき。	0	0	1	1
2：県費負担教職員の給与負担の本市への移譲について ・制度是正後は，本市独自の教育職の給与表を新たに作成し，給与を決めるべき。 ・教職員の採用も本市が主体性を持って，独自に実施すべき。	1	0	1	2
3：仙台塩釜港の今後の管理のあり方について ・県が一部事務組合への参加を求めてきた場合の対応。 ・仙台塩釜港の管理についての基本戦略を速やかに確立するべきではないか。 ・担当部局も速やかに一本化すべき。	1	1	2	4
4：伊達政宗公逝去の地の記念碑を日比谷公園に設置するべき	1	0	2	3
	3	1	6	10

【コメント】
3，4⇒具体的な案を伴った質問。

平成25年第4回定例会（第6日目）2013.12.12

発言順：5　鎌田城行（公明党仙台市議団）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：仙台駅東第二土地区画整理事業の総括，残された課題について市民に協力を仰ぐべき	0	0	0	0
２：震災復興計画の達成と市民の生活基盤の回復の程度 ・仮設住宅から転居した後の生活基盤の回復の程度と市の支援の見通し ・復興を果たすまで支援に最善を尽くすべき	0	0	0	0
３：内水害対策について ・消火栓の標識に倣って排水口の位置標識を路肩付近に設置したり，落ち葉対策用改良ますを積極的に設置してはどうか ・浸水被害の出やすい地域を中心に雨水浸透ますの整備補助事業を集中的にＰＲして、地域ぐるみで冠水防止への普及啓発に努めるべき	1	0	2	3
４：道路の安全管理について ・通学路の安全対策の改善の現状 ・安全標識等の保全 ・景観よりも安全確保を優先すべき（ガードパイプは白色にすべき，横断歩道や点字ブロックの点検改善） ・道路の路面管理の協力について（市民の協力に道路管理者が感謝の意を伝えることの必要性，庁舎北側の市道に透水アスファルトによる雨水浸透対策を図るべき）	1	0	2	3
５：自転車の安全対策について ・道路交通法改正に伴う市民への啓発活動がその後どのように徹底されているか ・自転車道の整備促進（ＪＲ仙台駅東口から陸上競技場に至る宮城野通の自転車専用イーグルロードを一方通行にすべき） ・自転車の安全促進に関する条例化を急ぐべき ・北六小学校のところの自転車レーンの確保の展望 ・車道幅が狭くなっても歩行者の安全を確保する取り組み（条例化） ・安全標識の保全をなぜ県警がやらなければならないのか。仙台市でやることができない理由 ・消えかかっているところは仙台市でやれるのではないか。移譲の協議があってもいいのではないか ・歩道上こそ自転車の一方通行を推進していくべき ・自転車レーンの周知 ・自転車の安全対策の周知方法 ・ヘルメットと目の前に障害物があったときのルールの徹底と呼びかけ	1	1	2	4
	3	1	6	10

【コメント】
１⇒何を総括するべきなのか。残された課題とは何かを質問者が具体的に指摘する必要がある ２⇒仮設住宅から転居した後の支援として何が必要なのか質問者が具体的に指摘する必要がある ３，４，５⇒具体的な提案を伴った質問

平成25年第4回定例会（第6日目）2013.12.12

発言順：6　小野寺淳一（みんなの党・みんなの仙台）

質問	①事前・現場調査（0～4点）	②他都市との比較（0～2点）	③改善案（0～3点）	合計
１：震災遺構の保存について（南蒲生浄化センターのポンプ棟を震災遺構として加えるべき）	1	0	1	2
２：津波到達状況を示す注意喚起の看板の早期設置の必要性	0	0	1	1
３：飲食店の火災予防について ・排気ダクトと火災についての当局の所見 ・査察時のダクトの点検の強化，清掃状況の確認，メンテナンスの重要性の周知の必要性および今後の当局の対応。	1	1	1	3
４：震災時の弱者対策について（障害者の電動製品の電源確保。災害時に人工呼吸器等の電源を確保するために，どのような整備をしようとしているのか）	1	0	1	2
５：円滑な変更協議ができないことによる工事不調の現状認識と今後の対応	1	0	0	1
６：仙台市の落ち葉対策（市民総出で枯葉の一斉清掃を行ってはどうか）	1	0	1	2
	5	1	5	11

【コメント】
４⇒震災時の弱者対策として，仙台市の場合，何が不足しているのか全般的な調査を行い，障害者の電動製品の電源確保をその中に位置づけて質問するべき。 ５⇒円滑な変更協議ができないことによる工事不調が実際に生じているのかどうか実態調査を行い，それを踏まえて質問するべき。